



2021年2月10日

各 位

会社名 大豊建設株式会社
代表者名 代表取締役社長 大隅 健一
(コード番号1822 東証第1部)
問合せ先 執行役員管理本部総務部長 小野 剛史
(TEL03-3297-7000)

2021年3月期第3四半期決算発表の延期の可能性に関するお知らせ

2021年1月19日付「当社従業員による不正行為の判明および外部調査委員会設置に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、現在、当社従業員による不正行為の事実関係等を明らかにするため、外部調査委員会を設置し調査を行っております。

当初、2021年2月初旬に外部調査委員会より調査報告書を受領することを予定しておりましたが、調査の過程において新たな類型の不正の疑義が発覚し、調査の完了にはさらなる期間が必要との判断に至りました。

これを受け、当社は、2021年2月15日に予定しておりました2021年3月期第3四半期決算の発表を延期する可能性がありますので、お知らせいたします。

株主の皆様をはじめとする関係者の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしますことを心よりお詫び申し上げます。

記

1. 不正行為の疑義の概要について

現時点において、以下の疑義が判明しており、外部調査委員会において、全容の解明、原因の究明及び再発防止策の提言に向け、鋭意調査中です。

- ①水増し発注・架空発注を通じた工事下請業者への預け金のプール
- ②上記①でプールした預け金の使用（別工事の原価の一部を補填）
- ③土木部門原価の建築部門原価への付け替え
- ④工事原価を同一工事下請業者による他工事における工事原価に付け替え
- ⑤架空発注を通じて外部業者にプールさせた預け金から私物を購入
- ⑥外部業者に預け金のプールを依頼した上、別期及び別工事の工事費用に充当

なお、外部調査委員会の調査の過程で、新たに判明した疑義は③から⑥となり、⑥についての調査に今後一定の期間を要すると見込んでおります。

2. 今後の対応について

現在、外部専門家である弁護士2名及び公認会計士1名を委員とする外部調査委員会を設置し、同種事案の有無を含む全容の解明及び原因究明並びに同種の事案の有無について調査を進めております。

今後のスケジュールとしましては、外部調査委員会による追加調査を踏まえ、決算発表を行う予定ですので、決算発表延期の有無、延期する場合の決算発表予定日については決定次第速やかに公表いたします。

なお、決算発表を延期する場合には、併せて関東財務局長へ四半期報告書の提出期限の延長承認を申請する予定です（提出期限の延長には関東財務局長の承認を要します）。

3. 業績に及ぼす影響について

現在、同種事案の有無も含め調査中ですが、現時点で判明している1. ①～⑤の不正による支出の総額は、約280百万円（当初開示金額は約266百万円）、当社の最終損益に与える影響としては約62百万円を見込んでおります。1. ⑥は調査の過程において新たに発覚した不正の疑義であり、影響する範囲、期間、金額等も含め調査中です。

今後、弊社の業績に及ぼす影響及び調査の結果等につきましては、適宜、速やかに公表してまいります。

以上